

瓊水

瓊水とは、玉のように美しく清らかな水のことです。田平を潤す、玉のように清らかな心をもつ子を育てていきます



けい すい

校長 田崎俊一郎

令和7年度 田平北小学校の教育はこう変わります！

子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。はじける笑顔、頑張る姿が校内のあちこちで見られ嬉しくなりました。子どもあつての学校だということを感じます。そして、令和7年度のスタートにあたり、今年度の北小学校の教育活動についてお知らせします。

1 教育課程の適切な運用

小学校での授業時数は決まっていますが、昨年度の文科省調査では、教育課程編成の計画段階で、授業時数が大幅に上回っている学校が全国の公立小中学校15%にのぼることが分かりました。それを受け、年間の教育課程、つまり授業時数の適正化が求められています。北小の場合、午前中に5時間授業を確実に実施していたため、学年によっては計画段階で授業時数が上回る予定になることが分かった。そこで、行事等の見直しを行うとともに、各学年の1週間の授業時数を以下のよう

- 1年生…この学校の入門期であることを考え、学校生活の仕方を指導する時間をとっていきまします。これまで教科の学習の中で行っていました。スタート力と時間をとってムリに行きたくありません。そのことと、一日も早く子ども自らの力で生活できるようにしていただきます。時間割上の変更はありません。
- 2年生…午後から授業はなく、毎日午前の5時間授業となります。午前中、子どもたちが集中できる時間に授業を行います。
- 3年生…月水金は5時間授業、火木は6時間授業となります。2年生と同じくできる限り午前中に学習を深めるようにします。
- 4年生、5年生、6年生は、月火水木は6時間授業、金曜は5時間授業となります。これまで、委員会活動とクラブ活動がある月曜日を活動がない週は5時間としていましたが、月曜日を6時間とし、金曜日は5時間とします。金曜日5時間とした意図は、学習の個性化と個別化に関連しています。

2 学習の個性化と個別化を図る

タブレットの導入により、学習の個別化と個性化が求められるようになってきました。個々に応じた学習課題、学習方法が選択でき、学びの可能性が広がってまいりました。それと同時に、学力差が年々広がっています。北小学校でもこれまでの授業で、一斉指導の中で、個別に指導したり、職員の休憩時間である昼休みに自主的に指導をしたりして宿題や課題のやり直しに取り組んできました。しかしながら、個人差が大きくなり、どうしても限界がありました。そこで、全校金曜日5時間とし、午後からは、個別指導と支援を行う北っ子のびのびタイム(仮称)を位置付けることとしました。これにより、より個々に応じた学習、また子どもたちの主体的な学習の実現を図りたいと考えています。具体的な運用までにはもうしばらく時間をいただき、運用方法が決まり次第お知らせします。

3 評価の見直し

指導と評価は一体的なものです。これまでの評価は、評価することによって、評価の質が落ちてきたことが十分できていません。丸をつけ、点数をつけて終わらせるのではなく、子どもたちの力はつきません。どこで間違えているのかを明確にして、次はできるようにすることが本来大切なことです。しかし現状では全員分ノートやドリルの丸つけに追われ、クラス全員の学習状況を把握するのが難しくなっています。そこで、評価を絞り、一人一人の学習状況を的確にとらえるため、タブレットを積極的に活用していきます。学年によっては、これまで購入していたドリルを単元テスト、算数ドリルや計算ドリルは購入せず、タブレットを活用し、ドリルパーク、テストパークを用いて評価します。これにより、本人の学習状況や学習履歴を把握できるようになり、その子に合った指導と支援ができるようになります。評価の結果をその子の次の指導に生かすことにより、学力の向上を図ることをめざします。

※この変更は、子どもたちの学力向上を図ることを第1と考えて行うものです。しかしながら、枠組みを変えても1時間1時間の授業の中身がよりよくならなければ、学力向上にはつながりません。より質の高い授業をめざし、これからも努力していきます。